

◆ 平成 22 年度（前期）県立広島大学 学部・学科・研究科（専攻）等による FD 活動（教育改善）報告一覧

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
経営情報学部	学科長：山本努			<p>テーマ：広島県立大学経営学部過年度学生への対策</p> <p>参加者数：旧庄原 C 所属の広島県立大学経営学科の全メンバーが中核だが、経営情報学部全員の協力体制で進めている。</p> <p>簡単な状況報告：</p> <p>定期的に過年度生指導対策検討会議を開催し、学生の状況を確認した上で、主指導教員による継続的な個別指導に加え、必要に応じて学科全体のオリエンテーションを実施した。各活動の詳細は以下の通り。</p>
		①平成 22 年 3 月	1243 講義室	<p>実施内容：旧経営学科第 1 回オリエンテーション</p> <p>状況報告：履修ガイダンスの実施，卒業までの履修年度計画作成。</p>
		②平成 22 年 3 月	1212 講義室	<p>実施内容：旧経営学科第 1 回過年度生指導対策検討会議</p> <p>状況報告：各学生の出席状況確認（各指導教員より報告），今後の対応策・指導方針の検討。</p>
		③平成 22 年 6 月	1212 会議室	<p>実施内容：旧経営学科第 2 回過年度生指導対策検討会議</p> <p>状況報告：各学生の出席状況調査の結果確認，出席状況不良のため保護者と電話で協議。</p>
		④平成 22 年 6 月	1512 経営情報学部学部長室	<p>実施内容：旧経営学科第 2 回オリエンテーション</p> <p>状況報告：各学生の現状及び卒業・学業に対する意欲の確認，個別履修指導。</p>
		⑤平成 22 年 9 月	1212 会議室	<p>実施内容：旧経営学科第 3 回過年度生指導対策検討会議</p> <p>状況報告：各学生の前期単位取得状況の確認，今後の対応策・指導方針の検討。</p>
保健福祉学部 看護学科教育課程検討会	学科 FD 委員： 石田宜子	①平成 22 年 4 月 12 日 10：40～11：30	3423 会議室	<p>テーマ：卒業時到達目標の検討</p> <p>参加者数：</p> <p>① 10 名</p> <p>② 9 名</p> <p>③ 9 名</p> <p>④ 11 名</p> <p>⑤ 9 名</p> <p>⑥ 9 名</p> <p>簡単な状況報告：</p> <p>学士課程における看護学教育を行うにあたって，卒業時到達度目標の見直しを，まずは従来から検討してきた指定規則に則った項目について，各領域における実践を報告しあった。今後は，学士力養成ということを視野に入れながら，更なる検討を行う予定。</p>
		②平成 22 年 5 月 17 日 17：00～18：00		
		③平成 22 年 6 月 9 日 12：15～15：00		
		④平成 22 年 6 月 21 日 16：20～17：50		
		⑤平成 22 年 7 月 30 日 16：20～17：30		
		⑥平成 22 年 9 月 21 日 14：40～16：00		

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
保健福祉学部 理学療法学科	学科長：大塚彰	学科会議時の討議・検討： 毎週水曜日・4時限目 勉強会として：月1回第2 水曜日・4時限目	2406 会議室	<p>テーマ：臨床実習中の学生の学習支援及び学内での学習の進行に問題を抱える学生の支援／教育方法論に関する勉強会</p> <p>参加者数：理学療法学科教員全員（12名）＋勉強会の場合は他学科よりの参加者を認めている。</p> <p>簡単な状況報告：</p> <p>① 学外における臨床実習中の学生の学習支援については、前期ですでに3回以上欠席している学生について、学科内教員よりの報告→チューターによる状況把握→学科での対応を検討・実施。</p> <p>② 学外における臨床実習中の学生の学習支援については、4年生の「総合臨床実習Ⅰ」について、問題のあったケース1件について検討し、教員による早期実習他訪問指導を実施。</p> <p>③ 教育に関わる勉強会としては以下の内容で3回開催。</p> <p>1) 4月21日：教育目標の設定と教員研修の意義（塩川准教授）</p> <p>2) 6月16日：「模擬患者演習」は役にたったか？（沖教授）</p> <p>3) 9月8日：岐阜大学医学教育開発研究センター（MEDC）の紹介 —ワークショップとセミナーへの参加を通して—（沖田教授）</p>
保健福祉学部 作業療法学科	学科 FD 委員： 田端幸枝	教育の質の向上を図るための 学科 FD の講習会 ①平成22年4月14日 ②平成22年7月28日	2416 会議室	<p>テーマ：FD 活動の充実</p> <p>実施内容：教育の質の向上を図るための学科 FD の講演会を原則年2回（前後期各1回）開催。</p> <p>① 第1回目：「学生の自傷または他害行為への対応～精神保健福祉法の側面から～」 （藤巻康一郎教授） 参加者数：29名</p> <p>② 第2回目：「ティーチングポートフォリオ」 （吉川ひろみ教授） 参加者数：14名</p>
		月2回の学科会議	2416 会議室	<p>参加者数：約15名</p> <p>簡単な状況報告：</p> <p>(1) 情報の共有：学科会議において学業不振者、健康状態に心配のある者、臨床実習で問題が生じた学生の指導等について情報が共有された。</p> <p>(2) 教育の質の組織的向上：学科のFD活動を1回実施。その他に教育間で抄読会等を行い、専門知識の組織的向上を図った。</p> <p>(3) 丁寧な学生指導：初年次教育に対しては1年生のチューターが個人面談を行い学生が困っていることや履修について指導。</p> <p>(4) 卒業生のフォロー：昨年の国家試験不合格者へのフォローを7月から実施中（原則1回/月）。</p>

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
保健福祉学部 コミュニケーション障害学科	学科 FD 委員： 本多留美	①学科会議（第 4 月曜・昼 休み）及び学生支援会議 （不定期・昼休みを中心 に）	1309, 1310 講習 室	<p>テーマ：学生支援の充実</p> <p>実施内容：学科会議及び学生支援会議</p> <p>参加者人数：コミュニケーション障害学科教員 10～15 名。</p> <p>簡単な状況報告： 学生の学業・生活上の問題や、学外実習中の学生の状況などについて、教員間で情報を共有し合っ た。また、保健福祉大学の学生への対応と支援の方法について検討・調整を行った。</p>
		②平成 22 年 5 月 17 日 平成 22 年 7 月 26 日 いずれも午後	1309 地域連携セ ンター	<p>テーマ：効果的・効率的な専門職教育の検討</p> <p>実施内容：実習指導者会議</p> <p>参加者人数：コミュニケーション障害学科教員 13 名及び臨床実習施設指導者 20 名前後。</p> <p>簡単な状況報告： 学外臨床実習指導者から、臨床現場からみた本学の教育について意見をいただいた。概ね素直で指 導しがいのある学生、という印象を持たれていることがわかった。一方で、年齢の違う人とのコミュ ニケーションの難しさが目立ってきたという指摘があった。</p>
		③平成 22 年 6 月 25 日 17：30～	大宮ソニックシ ティ	<p>テーマ：効果的・効率的な専門職教育の検討</p> <p>実施内容：日本言語聴覚士養成校教員連絡協議会総会</p> <p>参加者人数：コミュニケーション障害学科教員 2 名。</p> <p>簡単な状況報告： 国家試験や統一模擬試験に関することがテーマとなった。</p>
		④平成 22 年 8 月 9 日 13：00～	新大阪丸ビル	<p>テーマ：効果的・効率的な専門職教育の検討</p> <p>実施内容：日本言語聴覚士養成校教員連絡協議会 第 10 回研修会</p> <p>参加者人数：コミュニケーション障害学科教員 1 名。</p> <p>簡単な状況報告： コア・カリキュラムの考え方と応用について学んだ。</p>
		⑤平成 22 年 9 月 17 日 13：00～及び学科会議	1309, 1310 講習 室	<p>テーマ：効果的・効率的な専門職教育の検討</p> <p>実施内容：臨床実習のあり方についての検討</p> <p>参加者人数：コミュニケーション障害学科 6 名。</p> <p>簡単な状況報告： ワーキンググループでディスカッションを行い、改善案を作成した。</p>

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
		⑥平成 22 年 7 月 28 日 平成 22 年 9 月 29 日 いずれも 12 : 15 ~	1309, 1310 実習室	<p>テーマ：効果的・効率的な専門職教育の検討／専門・関連分野に関する知識の充実</p> <p>実施内容：コミュニケーション障害学科セミナー</p> <p>参加者人数：コミュニケーション障害学科教員及び他学科教員 10～15 名。</p> <p>簡単な状況報告： 「テレビ電話ソフトを使った遠隔 ST システムの構築と小児の構音訓練」「コア・カリキュラムとは？言語聴覚士教育課程におけるコア・カリキュラム作成の可能性について考える」をテーマに発表とディスカッションを行った。</p>
保健福祉学部 人間福祉学科	学科 FD 委員： 三原博光	①平成 22 年 5 月 22 日	体育館 調理実習室	<p>テーマ：地域の障害者との交流を通して学生及び教員の福祉実践能力の構築</p> <p>参加者人数：障害者家族 120 名，人間福祉学科 80 名（1 年生～3 年生）。</p> <p>簡単な状況報告： 三原ゼミの 3 年生が企画・運営を実施し，人間福祉学科 1, 2, 3 年生 80 名がボランティアとして参加，一方，障害者家族・施設教員 120 名が参加し，体育館でビーチバレーボール，調理実習室でカレーの調理を行った。ビーチバレーボール終了後，食堂で試食。今回は参加者全員で 200 名近くになったが，3 年生の参加者が満足できるように 1, 2 年生を指導したため，会の交流がスムーズに進められた。今回，初めて，看護学科の男子学生・教員も参加し，学科を超えた学生及び教員同士の交流も芽生えた。障害者自身はもちろんその保護者・施設職員も学生との交流に満足し，学生の障害者に接する暖かい配慮に感謝していた。また，学生及び教員も障害者の保護者のケアの困難さを知ることができた。学生の中には，大学と障害者家族の地域福祉との関連性について学ぶことができたと言っているものもいた。</p>
		②毎月第 3 水曜日 10 : 40 ~ 12 : 10	4 号館 5 階	<p>テーマ：福祉実習に伴う授業欠席の多い学生指導（2 年生）</p> <p>参加者人数：実習担当教員 7 名。</p> <p>簡単な状況報告： 人間福祉学科 2 年生の学生の中に実習に関連授業の欠席の多い学生の指導方法について話し合った。実習担当指導員の根気強い指導により，当該学生が夏休みの福祉実習を終えることができた。</p>